

たわわ



地域で生きる障害者を支える会通信

発行 2004年6月30日

46号

「地域で生きる障害者を支える会」会報

住所：横浜市港北区下田町6-3 1-8

活動ホーム「しもだ」内

TEL 045-562-3600

FAX 045-562-5991

## 障害者の安定した地域生活のために

### — 福祉の激動期をむかえて —



早いものでもう7月の声を聞き、「一年の半分が過ぎてしまったのか……」という声がかわされています。皆さまいかがお過ごしでしょうか……

私たちとしては、今年は特にいろいろありましたが、一般に年明けから年度末へ向けてのあわただしさ、四月からは年度始めの落ち着かなさで、毎年この時期は早く過ぎ行く季節なのかもしれません。

\* \* \*

#### ◇17年度予算へ向けて

さて、今年もそろそろ来年2005年度の予算をにらみ、要望を出していく頃となりました。横浜市で活動している、障害者地域活動ホームや、地域作業所、グループホームの連絡会では、いくつかのブロックに分かれて集まりをもち、それぞれ現場の様子や課題、問題点などについて話し合い、要望事項を検討します。それをベースにして要望書をまとめ8月には各連絡会の代表が横浜市の福祉局へ提出します。そして局では8月から9月ごろに予算の概算要求がまとめられ、それにこの私たちの声がどれほど反映されるのか……と。

今年6月22日夜に開かれた作業所・活動ホーム合同鶴見区、港北区ブロック会議のテーマは、障害者の地域生活の充実にむけて作業所やグループホームの充実、ホームヘルプ・ガイドヘルプのさらなる充実、障害者医療問題とくに精神障害を併せ持つ利用者への対応、などについてでした。

どこのグループホームも介助者の安定的な確保に苦慮しているのが実情のようです。また在宅者はヘルパー制度の使いこなしがまだまだ十分に出来ていない状態です。

新しいグループホームの設立を考えているところはいくつもありますが、地元住民の理解が得られず、場所探しが大変なところもあり、スタッフの育成など多くの問題や課題がだされてきました。

\* \* \*

## ◇支援費と介護保険の統合は？

さらにまた、支援費制度が始まって一年が過ぎました。

「障害者が自己決定にもとづいて、必要な福祉サービスを活用して、地域で生活できるような支援の仕組み」として出発して間もないのに、財政的逼迫、支援費制度の状況の変化(破綻)、精神障害者施策の遅滞の回復などを背景に、介護保険制度との統合がうちだされています。今後一定のスケジュールを踏んで統合されるのは、ほぼ間違いないようです。

私たちはここ数年、力を合わせ、重い障害者の地域生活を考え、グループホームの設立に向けて夢中で過ごしてきました。2 館目の設立でとりあえず緊急のニーズには対応していくことが出来ましたが、これからがむしろ大切な活動となります。

全国的にみると、グループホームが一軒もないという自治体が 78%もあるといます。このような状況の中で生活するのは、まだまだ「ひと安心」などという事には程遠いというのが実情です。今後をしっかり見守り、必要なら意思表示もしていかなければならないのではないのでしょうか。



## しもだの余暇活動

黒田 道子

余暇のお花の会は感動いっぱいの時間です。自分の個性を十分に発揮して、立派な作品が出来上がるのです。スイート高く天まで伸びるような勢いのある気持のいい作品。おおらかにゆったりとふくらみを持たせた安心感のある作品。きっちりと剣山をいっぱい使ってドーシリとした力強い作品。両手をいっぱい広げて優しくつつみこむような作品。

お花の美しさを全部自分のものとして、感性豊かに率直に活けられたそれぞれの作品はどこの華展にも負けない程に自分の個性を出した作品だと思っています。

そしてお花を生ける所員さんのアシスタントをしてくださる職員さんやボランティアさんが一人の方に一人付いてくださいますが、一人一人の個性を上手に引き出してくださいます。私といたしましては、ありがたく、感謝いたしています。素晴らしいアシスタントさん達です。

早く活ける人、ゆっくり活ける人とそれぞれですが、作品をみんなで鑑賞したり、自分の作品と一緒に写真を撮ったりで、終わりの挨拶まで花に気持を委ねている所員さんの顔は最高にきれいで素敵です。このような時間を持たせていただいた私は幸せ者です。ありがとうございます。

**ご入会、ご継続 ありがとうございます** [敬称略]

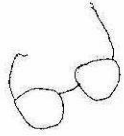
### 《会員》 《賛助会員》

大谷 友子 菅井とし子 出村 早苗 馬場 綾子 荒木 明美 寺島 利夫  
白川田倫代 笹瀬スマ子 白鳥千代子 清水 健志

### 《団体》

パナホーム株式会社

[16年6月28日現在]



## めがねのこえ

この前テレビで 障害者の仕事を考える番組がありました。いろいろな工夫もされていますが、今はパソコンが出来て障害者たちの力を生かす仕事も多くなりました。

\* \* \*

この前 私の部屋のお掃除をしましたら、 懐かしくたくさんパソコンの本や勉強のメモなどがありました。

その頃 私は たまたま青年クラブで会計の係りになりました。初めは手書きでノートをつけていましたが、 手に麻痺があるので 小さな数字が上手に書けなくて、 0なのか6なのか 8なのか3なのか など 時間がたつとあとからわからなくなって計算が合わないことが多くありました。

ボランティアさんと相談して それまで使っていたワープロで書こうか。「それならいっそパソコンを使ったら」と言うことになり 青年クラブのプログラムでパソコンを始めました。そして ほかにボランティアさんに教えていただいたりしながら メールもできるようになりました。私は障害が重いので、パソコンが覚えられるのかどうか心配でした。今もこうやっているのが不思議に思うときがあります。

メールが出来るようになったとき 自分でもびっくりしました。 とてもうれしかったです。 トーキングエイドを使って電話をしたり FAXを使って文を送る事は人の手助けがいります。メールだとボタンを押すだけで飛んでいきます。

私の障害は長い文を読むのが苦手なので 読み上げのソフトが入れています。これはもともと目の不自由な人のためのものです。このようにいろいろな障害の人に合わせた工夫もされてきました。障害で困るところを すこしずつ機械や 皆さんの力で手伝っていただいて障害者でも 健常者のようにいろいろなことをやれば いいなとおもいます。

私が中学生になった頃 先生に「ワードプロセッサという機会ができたよ! 今はまだ高いけど そのうち友子も使えるようになると思うよ!」といわれて なんとなくうれしかったのを思い出しました。

それからだいぶたちました。パソコンは まだすこししか使いこなしていないと思いますが 私にとっては、足の代わりをする車イスと同じに とても大切な機械のひとつです。

大原友子

## 手作り品紹介

ペーパードール 350円

地域作業所「よつばホーム」発足以来の人気商品です。カラフルなクレープーパーのドレスが可愛いバックスタイルのお人形です。

## 今月のよつばホーム

### 職員研修に行って感じること・・・

ちょうど1年前になりますが、新人研修に参加しました。

研修は全部で5日間に分かれ、各研修とも色々と考えさせられ勉強になる内容でした。研修の内容はもちろん、参加して本当に良かったと思うのは、同じグループになった人たちと色々な話ができたことです。

各研修日の後半は、各グループに分かれグループディスカッションをします。

ディスカッション内容は、各グループでフリーに決められるということもあって、かなり盛り上がる場面もあります。

「うっそー!」「うちもそう!」「あるある〜!」とか。(^^)

それぞれ職場の環境は違い、作業所・活動ホーム・グループホーム・etc...。年齢も違います。ですが、みんな新人職員という大きな共通点から、お互いにプラスになるディスカッションができました。

最終日には打ち上げが出来るくらいの関係が築け、今でも仕事の相談が出来る関係が続いています。

新人研修から1年が過ぎ、今になってディスカッションしたことが自分に生きてきたりします。自分のスキルアップのため、色々な人の話を聞くことも、大切なことと感じます。これからも、より良い生活環境を作っていく為にも色々と悩んだり、考えたりしてみたいと感じます。

### 早いもので、第2よつばホームがスタートして3ヶ月が過ぎました。

入居者、ヘルパーさん、アルバイト、そして職員も徐々にですが、グループホームの生活に慣れてきた所です。

今月はまだ第2よつばホームをご覧になったことがない方達の為に家屋の造り・間取りをご紹介します。

まず、広い玄関（バリアフリー）には外用、室内用の車椅子をしまえるスペース。

そして、リビングまで廊下が続きます。右手には体験入居部屋（6帖）、大原友子さんの部屋（6帖）、富岡章子さんの部屋（6帖）、左手にスタッフルーム（2ヶ所・各3帖）があります。

リビングに入ると天窓からの明るい陽射しが迎え入れてくれます。

入居者が横になれる10帖の畳スペース、対面式キッチン

リビングの先には阿部健市さんの部屋（6帖）、山田宏さんの部屋（6帖）、浴室と続きます。

その他、トイレが3ヶ所。土地の関係もあり、横に長い造りとなっています。

まだ、来た事のない方は、ぜひ一度遊びに来てくださいね！

